

調査結果のまとめ

1 現在の住居について

今の住まいに居住し始めた時期は、「平成 17 年（2005 年）以降」が 2 割以上を占めています。

今後の居住意向は、「現在の場所に住み続けたい」が約 6 割となっており、年代が上がるにつれ「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなっています。また、居住年数が長いほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなっています。

2 現在の裾野市の取り組みについて

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野がタイプ A、タイプ B に、地域産業分野の取り組みがタイプ C に分布しています。

みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）

5 割以上が『心身ともに健康で充実した生活を送る』、『必要な時に適切な医療が受けられる』ことに満足しています。

『必要な時に適切な医療が受けられる』ことについて、「とても重要」の割合が 7 割以上を占めています。

『高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』、『安心して子育てと就労が両立できる』、『人間性豊かな子どもを育てる教育』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きくなっています。

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、主に満足度は低いが、重要度が高いタイプ A、満足度が低く、重要度も低いタイプ B に分布しています。

人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

5 割以上が『身近な緑の環境』に満足しています。

『地震災害対策』、『消防・救急体制』、『犯罪からまちを守る』ことについて、「とても重要」の割合が 5 割以上を占めています。

『ごみ不法投棄や公害への対策』、『地震災害対策』、『犯罪からまちを守る』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きくなっています。

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、主に満足度は低いが、重要度が高いタイプ A、満足度が低く、重要度も低いタイプ B に分布しています。

新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

約 2 割が『先進企業を核とした地場産業の活性化』に満足していますが、約 5 割が『にぎわいのある商業地づくり』に不満を感じています。

7 割以上が『新たな観光地づくり』、『裾野市の全国に向けたアピール』について、重要だと感じています。

『農林業の活性化』、『先進企業を核とした地場産業の活性化』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きくなっています。

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、主に満足度は高く、重要度も高いタイプ、満足度が低く、重要度も低いタイプ、満足度は高いが、重要度が低いタイプ に分布しています。

頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

約 2 割が『市民のための行政サービス』、『健全な財政運営』に満足しています。

9 割以上が『健全な財政運営』について、重要だと感じています。また、『男女共同参画社会』、『市民のための行政サービス』について、「とても重要」の割合が 5 割以上を占めています。

『健全な財政運営』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きくなっています。

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、主に満足度は高く、重要度も高いタイプ、満足度が低く、重要度も低いタイプ、満足度は高いが、重要度が低いタイプ に分布しています。

市の政策全体に対する満足度

市の政策全体に対し、満足している人は約 4 割となっています。

また、年代別では、35～39 歳、40～44 歳の約 5 割が市の政策に満足しており、地区別では、富岡、西、企業団地で市の政策に満足している人が約 4 割となっています。

3 市からの情報の入手方法

市の行事等のお知らせは、8 割以上が「広報紙」から入手しており、年代では 40～54 歳、60～64 歳、居住地区では富岡、深良で約 9 割を占めています。

また、年代別では、25～29 歳の 2 割以上が「ホームページ（インターネット）」から情報を入手しているほか、年代が上がるにつれ「回覧板」、「新聞」の割合が高くなる傾向がみられます。居住地区別では、富岡、深良で「回覧板」の割合が 6 割以上を占めているほか、富岡で「無線放送」の割合が約 4 割、西、千福が丘、企業団地で「ホームページ（インターネット）」の割合が約 1 割となっています。

4 裾野市の今後の行政運営について

裾野市の行政運営の基本目標として特に重視すべきもの

「誰もが健やかでしあわせに暮らせる健康・福祉のまち（保健・医療・福祉など）」が全体の約 5 割を占め、特に女性で割合が高くなっています。

年代別では、20～24 歳、45～54 歳で「産業がいきいきと活発なまち（産業振興・雇用など）」、25～29 歳で「道路や河川などが整備され、人や物が活発に交流するまち（都市基盤・生活環境整備など）」を重視されています。

居住地区では、富岡、東、千福が丘で「市民が安心・安全に暮らせるまち（防災・防犯・交通安全など）」の割合が 1 割以上と高くなっています。

また、市の政策に満足している人で「誰もが健やかでしあわせに暮らせる健康・福祉のまち（保健・医療・福祉など）」の割合が 5 割以上を占めています。

保健・医療・福祉分野で特に推進すべき施策

全体の約 5 割が「医療費の支援・健診の充実」を特に推進すべきであると考えていますが、男性では「子育て支援体制の充実」の割合も高くなっています。

年代別では、25～39 歳の 6 割以上が「子育て支援体制の充実」、45～49 歳の 6 割以上が「病院など地域医療施設の充実」、60～74 歳の 5 割以上が「高齢者・障害者支援の充実」を特に推進すべきであると考えています。

居住地区では、須山、富岡で「医療費の支援・健診の充実」、企業団地で「子育て支援体制の充実」の割合が 5 割以上を占めており、また、富岡、深良、千福が丘で「高齢者・障害者支援の充実」の割合が 4 割以上となっています。

自然や環境の保全分野で特に推進すべき施策

全体の 5 割以上が「ごみ収集、リサイクル対策、不法投棄対策の充実」を特に推進すべきであると考えており、また、男性は「森林や河川などの自然環境の保全」を、女性は「環境汚染からの安全性の確保」を推進すべきと考える人の割合が高くなっています。

年代別では、20～24 歳、50～54 歳の 4 割以上が「環境汚染からの安全性の確保」、40～44 歳、50～59 歳の約 6 割が「ごみ収集、リサイクル対策、不法投棄対策の充実」を特に推進すべきであると考えています。

居住地区では、須山で「森林や河川などの自然環境の保全」の割合が 5 割以上「ごみ収集、リサイクル対策、不法投棄対策の充実」の割合が約 6 割となっています。

また、市の政策全体に対し、どちらともいえない、やや不満を感じている人で「街並みの景観の充実」の割合が 2 割以上となっています。

産業振興・雇用分野で特に推進すべき施策

全体の約 5 割が「雇用の場の確保など勤労者対策の充実」を特に推進すべきであると考えており、また、男性は「優良企業の誘致や新たな産業の育成支援」を、女性は「商店街や中心市街地の活性化」、「雇用の場の確保など勤労者対策の充実」を推進すべきと考える人の割合が高くなっています。

年代別では、55～59 歳の 6 割以上が「雇用の場の確保など勤労者対策の充実」、70～74 歳の約 4 割が「優良企業の誘致や新たな産業の育成支援」を特に推進すべきであると考えています。

居住地区では、富岡、千福が丘で「優良企業の誘致や新たな産業の育成支援」の割合が 3 割以上、東、西で「商店街や中心市街地の活性化」の割合が 4 割以上となっています。

また、市の政策全体に対し、どちらともいえない、やや不満である人で「商店街や中心市街地の活性化」の割合が 4 割以上、まあ満足している、不満である人で「雇用の場の確保など勤労者対策の充実」の割合が約 5 割となっています。

防災・防犯・交通安全分野で特に推進すべき施策

全体の 6 割以上が「災害（地震・水害）に対する対策の充実」を特に推進すべきであると考えており、また、男性は「暴力や犯罪に対する防犯体制の充実」を推進すべきと考える人の割合が高くなっています。

年代別では、20～29 歳の 7 割以上が「災害（地震・水害）に対する対策の充実」、30～59 歳の 4 割以上が「消防・救急体制の充実」を特に推進すべきであると考えています。

居住地区では、須山、富岡、西で「消防・救急体制の充実」の割合が 4 割以上、企業団地で「災害（地震・水害）に対する対策の充実」の割合が約 8 割となっています。

また、市の政策全体に対し、市制に満足している人の 4 割以上が「消防・救急体制の充実」となっています。満足してないと感じている人ほど、「暴力や犯罪に対する防犯体制の充実」、「交通安全対策の充実」の割合が高くなる傾向があります。

都市基盤整備・生活環境整備分野で特に推進すべき施策

全体の 4 割以上が「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」を特に推進すべきであると考えており、また、男性では「渋滞解消など道路整備の充実」を推進すべきと考える人の割合が高くなっています。

年代別では、20～29 歳の 4 割以上が「渋滞解消など道路整備の充実」、20～29 歳の約 7 割が「鉄道・バスなどの公共交通機関の充実」を特に推進すべきであると考えています。

居住地区では、須山で「渋滞解消など道路整備の充実」の割合が 5 割以上、東、西で「商店街の活性化や基盤整備など中心市街地の整備」の割合が約 4 割、企業団地で「公営住宅や住宅用地の供給」の割合が 4 割以上となっています。

また、市の政策全体に対し、満足している人で商店街の活性化や基盤整備など中心市街地の整備」の割合が約 4 割、やや不満である人で「渋滞解消など道路整備の充実」の割合が、不満がある人で「下水道や生活排水処理などの充実」の割合が 4 割以上となっています。

教育・文化・スポーツ分野で特に推進すべき施策

全体の 4 割以上が「小中学校教育の充実」を特に推進すべきであると考えており、また、男性は「スポーツやレクリエーション活動の支援・振興」を推進すべきと考える人の割合が高くなっています。

年代別では、20～24 歳の 5 割以上が「図書館、スポーツ施設、レクリエーション施設などの充実」、25～39 歳の 5 割以上が「幼稚園や保育園など幼児教育の充実」、30～49 歳の 5 割以上が「小中学校教育の充実」、65～74 歳の 4 割以上が「青少年健全育成の充実」

居住地区では、富岡で「小中学校教育の充実」の割合が 5 割以上、深良、東で「青少年健全育成の充実」の割合が約 3 割、企業団地で「幼稚園や保育園など幼児教育の充実」の割合が約 7 割となっています。

また、市の政策全体に対し、満足している、まあ満足している、不満である人で「小中学校教育の充実」の割合が約 5 割、どちらともいえない人で「図書館、スポーツ施設、レクリエーション施設などの充実」の割合が約 4 割となっています。

今後の裾野市のまちづくりとして参加できる市民活動

全体の 7 割以上が「ごみの分別、減量化や買い物時のマイバック持参」に参加できると回答しており、また、男性は「地域のスポーツや文化の振興のための活動」、女性は「ごみの分別、減量化や買い物時のマイバック持参」、「地域の 1 人暮らしの高齢者を守る見回り活動」、「地域における子育て支援活動」、「地域の子どもの安全確保のための下校時パトロール活動」の割合が高くなっています。

年代別では、35～44 歳、50～54 歳の 8 割以上が「ごみの分別、減量化や買い物時のマイバック持参」、60～74 歳の約 3 割が「地域の 1 人暮らしの高齢者を守る見回り活動」に参加できると回答しています。

また、20～39 歳で「地域における子育て支援活動」の割合が、35 歳、65～69 歳で「地域の子どもの安全確保のための下校時パトロール活動」の割合が 2 割以上を占めています。

居住地区では、須山、企業団地で「富士山などでの環境保全活動への参加」、富岡、千福が丘で「地域の 1 人暮らしの高齢者を守る見回り活動」、富岡で「地域の子どもの安全確保のための下校時パトロール活動」、東、西で「地域の防犯パトロールなどの防犯活動」の割合が、それぞれ 2 割以上となっています。